

令和4年1月7日発行

演劇・映画の専門図書館

松竹大谷図書館ニューズレター

No. 286(2022年1月)

新年を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます

旧年中は新型コロナウイルスの影響の中
皆様より沢山のご支援ご協力を賜り有難く厚く御礼申し上げます



当館所蔵組上燈籠絵「見立奇術水湖伝組上四枚続」(明治30[1897]年)
1枚目(部分)

昨年はクラウドファンディング10年目となる節目の年を迎え、282名の方より312万6千円のご支援を頂きプロジェクトが成立いたしました。募集した資金は、令和3年度の図書の運営費として主に電動移動書架のモーター交換費と約90本の古い【映画フィルム】の劣化状態調査及び新しい保存用のフィルム缶へ入れ替えなど保存状況改善のための費用とさせていただきます、事業を推進しております。

皆様のご協力とご支援を支えとして、ますます充実した演劇と映画の専門図書館を目指し、これからも資料の保存・活用にスタッフ一同努めてまいります。本年も当館の活動にご理解・ご協力・ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

松竹大谷図書館 スタッフ一同

目次:

新年のご挨拶	1	資料をご寄贈くださった方々	3
第89回所蔵資料展示「没後50年 新派俳優・伊志井寛の竹まい」	2	公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い	4
歌舞伎座筋書新連載【松竹大谷図書館の名品】が始まりました	2	松竹大谷図書館 ご来館予約のお願い	4
第五十回 令和三年度「大谷竹次郎賞」に関してのご報告	2	年末年始休館のお知らせ	4
新着資料案内	3	利用案内	4
新規登録資料案内	3		

■第89回所蔵資料展示「没後50年 新派俳優・伊志井寛の佇まい」

展示期間：令和4[2022]年1/11～3/2 於 閲覧室

本年は、舞台はもちろんのこと、映画やテレビドラマなどで幅広く活躍した新派俳優・伊志井寛の没後50年にあたります。本展示では、新派公演のステール写真、映画関連資料を中心に、伊志井寛の魅力をご紹介します。

伊志井 寛 (明治34[1901]年2月7日～昭和47[1972]年4月29日)

伊志井寛は10代の頃、文楽修行に打ち込みました。しかし病気を患い約4年で東京へ帰郷。大正11[1922]年に松竹蒲田に入社し、映画俳優の道へ進みます。その後、舞台へと活躍の場を広げていきます。そこで新派の初代喜多村緑郎の目にとまり、昭和3[1901]年には新派へ加入。新派古典作品で二枚目を演じ、花柳章太郎らと共に人気を集めました。現代劇も巧みで、戦後には、新派に“ホームドラマ”の分野を切り開き、初代水谷八重子らと共に活躍しました。昭和42[1967]年、紫綬褒章受章。晩年まで舞台上に立ち続けながらテレビドラマにも多数出演し、お茶の間でも親しまれました。

※開館日時につきましては、状況の変化にともない変更の可能性があります。随時当館のHP、Facebookの投稿をご確認下さい。また、お電話でもご案内いたしますので、ご来館前にお問い合わせ下さい。
電話:03-5550-1694(平日:10時～17時)

■展示資料リスト■【映画関連資料】『呪いの笛』昭和33[1958]年8月3日公開(歌舞伎座)台本、ステール写真/『結婚式・結婚式』昭和38[1963]7月13日公開(松竹大船)台本、ステール写真 【テレビ関連資料】『東芝日曜劇場脚本集』『カミさんと私』シリーズ 昭和38[1963]年7月14日(第345回「よき妻・よき夫」)/『週刊TVガイド』昭和51[1976]年4月2日号(703号)『日曜劇場・カミさんと私』【著書】『裸寛記』(昭和23[1948]年万粧書房発行)/『にっこり抄』(昭和42[1967]年オリオン出版社発行)【色紙】新派俳優寄書色紙 【写真】素顔写真 2点、「新派の人々」1点、伊志井寛、花柳章太郎サイン入り写真1点 【新派公演舞台写真】『悲恋華』昭和11[1936]年3月東京劇場/『母とともに』昭和11[1936]年3月東京劇場/『平和な物語』昭和15[1940]年7月明治座/『萩すずき』昭和17[1942]年10月明治座/『息子の青春』昭和27[1952]年8月歌舞伎座/『風流深川唄』昭和31[1956]年5月新橋演舞場/『太夫さん』昭和33[1958]年5月新橋演舞場/『銀座人情』昭和40[1965]年3月新橋演舞場/『すみだ川』昭和45[1970]年4月新橋演舞場



左より:『にっこり抄』、『裸寛記』



新派俳優寄書色紙
下中央が伊志井寛のサイン

■歌舞伎座筋書新連載【松竹大谷図書館の名品】が始まりました

今月2日、お正月の歌舞伎座は初芝居が賑やかに幕を開けました。その歌舞伎座の筋書では、当館のスタッフが執筆を担当する新連載【松竹大谷図書館の名品】が始まりました。1月は「かふきのさうし」(重要美術品)をご紹介します。今年一年間にわたって松竹大谷図書館が所蔵する名品をご紹介しますので、ご観劇の際にはぜひ筋書もお楽しみ下さいませ。

写真の左は「かふきのさうし」に描かれている阿国、右は「かふきのさうし」をデザインに使用した一筆箋です。一筆箋は、当館閲覧室と松竹歌舞伎屋本舗の店舗で販売しております。



■第五十回 令和三年度「大谷竹次郎賞」に関してのご報告

第五十回 令和三年度「大谷竹次郎賞」につきましては、対象作品なしとなりましたので、ご報告申し上げます。

<「大谷竹次郎賞」とは> 本賞は、毎年1月より12月までの公演で、松竹系のみならず、歌舞伎俳優によって上演された新作の歌舞伎及び歌舞伎舞踊の脚本を対象とし、娯楽性に富んだ優れた歌舞伎脚本に贈る賞です。昭和47年2月14日からはじまり、令和三年度で50回目を迎えました。毎年、大谷竹次郎(松竹株式会社創業者のひとり)の誕生日、12月13日にあわせて発表しており、該当作がない場合、佳作や奨励賞(新人対象)を贈る場合もあります。

当館からは副賞として受賞者に松竹大谷図書館賞の記念レリーフ(荒川明照氏作)を贈呈しています。この10年の受賞作は、今井豊茂氏『新作 陰陽師 滝夜叉姫』(第42回 平成25年度)、川崎哲男氏・松岡亮氏『壽三升景清』(第43回 平成26年度)、今井豊茂氏『あらしのよるに』/横内謙介氏『スーパー歌舞伎II ワンピース』(第44回 平成27年度)、三谷幸喜氏『月光露針路日本 風雲児たち』/丹羽圭子氏・戸部和久氏『風の谷のナウシカ』(第48回 令和元年度)です。これらの受賞作の台本は当館に保存されており、一般公開しておりますので、どなたでもご覧いただけます。

新着資料案内 (ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いします)

新しく受入れた資料をご案内いたします

◆松竹系12月演劇公演資料

○ … 受入済

劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
歌舞伎座	『新版伊達の十役』	○	○		
	『男女道成寺』	○	○		
	『ぢいさんばあさん』	○	○	○	○
	『義経千本桜 吉野山』		○		
新橋演舞場	『信濃路紅葉鬼揃』	○	○		
	『舟木一夫特別公演』	○	○	○	○
南座	『晒三番叟』	○			
	『曽根崎心中』	○			
	『三人吉三巴白浪』	○			
	『身替座禅』	○		○	○
	『銀杏鶴玉章封裏 雁のたより』	○			
	『蜘蛛絲梓弦』	○			
松竹座	『大阪景状線 大正歌謡編』	○		○	

◆他社演劇公演資料 (2021年10-12月) (順不同) 二兎社『鳴外の怪談』東京芸術劇場シアターウエストプログラム/『イロアセル』新国立劇場小劇場プログラム/ティファクトリー『オール・アバウト・Z』ザ・スズナリプログラム/ピンク・リパティ『とりわけ眺めの悪い部屋』浅草九劇プログラム/文学座『ジャンガリアン』紀伊國屋サザンシアターTAKASHIMAYAプログラム/はえぎわ『ベンバー・ノーその意味は?』シアタートッププログラム/SPIRAL MOON『たみしずめ』下北沢「劇」小劇場プログラム/アル☆カンパニー・ラボ『POPPY!!!ポッピー』雑遊プログラム/阿佐ヶ谷スパイダース『老いと建築』吉祥寺シアタープログラム/KUNIO10『更地』世田谷パブリックシアタープログラム/JACROW『廻る礎』座・高円寺1プログラム/iaku『フタマツツギ』シアタートラムプログラム/M&O plays『いのち知らず』本多劇場プログラム/『ジャニーズ伝説2021』帝国劇場プログラム/ミュージカル『グリース』シアタークリエプログラム/『ボーン・トゥ・ダイ』博品館劇場プログラム/KIRARI SHOW ACT PARADISE THEATER『夜想曲ノクターン』博品館劇場プログラム/げんこつ団『ファクト・リ』下北沢駅前劇場プログラム/扉座『ホテルカリフォルニア』紀伊國屋ホール台本/東京シェイクスピア・カンパニー『冬物語』中野テアトルBONBONプログラム/あいまい劇場『あくど』EXシアター六本木プログラム/『夫婦漫才』御園座プログラム/COCOON PRODUCTION2021+大人計画『パ・ラバパンパン』シアターコクーンプログラム/ミュージカル『オリバー』シアターオーブプログラム/リーディング新派inエンパク『十三夜』早稲田大学小野記念

講堂プログラム/朗読劇『智恵子抄』銀座プロッサムプログラム、台本/『十一代目岩井半四郎襲名岩井会』国立劇場大劇場プログラム/『第73回名古屋をどり西川右近追善公演』御園座プログラム/『名手・名匠邦楽と舞踊の会』石川県立音楽堂邦楽ホールプログラム/加藤健一事務所『叔母との旅』サンシャイン劇場プログラム/『国立劇場第89回雅楽公演』国立劇場小劇場プログラム/『国立劇場第167回舞踊公演』国立劇場小劇場プログラム/『第39回舞踊公演』国立文楽劇場プログラム/『第164回文楽公演』国立文楽劇場プログラム

◆映画資料 (順不同) 『ダンサー・イン・ザ・ダーク 4Kデジタルリマスター版』ポスター、プログラム/『99.9 刑事専門弁護士 THE MOVIE』ポスター、プログラム

◆映画プログラム (順不同) 『マトリックス レザレクションズ』『世界で一番美しい少年』『ブックススマート 卒業前夜のパーティーデビュー』『戦場のメリークリスマス/愛のコロパド』『クロープヒッチ・キラー』『ハリウッド1969 シャロン・テートの亡霊』『いとみち』『追龍』『WAR ウォー!!』『夢幻紳士 人形地獄』『映画演劇 サクセス荘 侵略者Sと西荻窪の奇跡』『劇場版 呪術廻戦 0』『あなたの番です 劇場版』『ラストナイト・イン・ソーホー』『ヴェノム:レット・ゼア・ビー・カーネイジ』『ボス・ベイビー ファミリー・ミッション』『ダーク・ウォーターズ 巨大企業が恐れた男』『レイジング・ファイア』『日本語劇場版 サンダーバード55 GOGO』『ムード・インディゴ うたかたの日々』

◆演劇雑誌 (順不同) 『Confetti』2022年 January/『KENSYO』Vol. 123/『SePT倶楽部 information』2021年12月号/『the座』2021年11月号/『あぜくら』2021年12月号/『ほうおう』2022年2月号/『ジョイン』No. 101/『ステージぴあ関西版』2021年11月+12月号/『テアトロ』2022年1月号/『ラ・アルプ』2022年1月号/『演劇界』2022年2月号/『喝采』2022年3月/『御園座演劇図書館Newsletter』Vol. 45/『国立演芸場公演ガイド』令和4年1月号/『大向う』令和4年1月号/『日本演劇興行協会会報』61号/『日本芸術文化振興会ニュース』2022年1月号/『日本照明家協会誌』2021年12月号/『日本舞踊』74巻1月号/『悲劇喜劇』2021年3月号, 2022年1月号/『邦楽の友』令和3年11月-12月号

◆映画雑誌 (順不同) 『FLIX』2022年2月号/『NFAJプログラム』No. 33/『SCREEN』2022年1月号/『TVガイド』2021年12/3号, 12/10号, 12/17号, 2022年1/3号, 1/7号/『おとなのデジタルTVナビ』2022年2月号/『キネマ旬報』2021年1月上・下旬合併号, キネマ旬報NEXT Vol. 39/『シナリオ教室』2022年1月号/『ドラマ』2022年1月号/『ピクトアップ』2022年2月号/『ムービー・スター』2022年2月号/『映画テレビ技術』2022年1月号/『映画秘宝』2022年1月号, 2月号/『黒澤明研究会誌』45号/『日経エンタテインメント!』2022年1月号

新規登録資料案内 (順不同)

新しく受入れた資料をご案内いたします

『そっちゃんない、こっちゃん 映画監督・柳澤壽男の世界』『スタンリー・キューブリック ムービー マスターズ』『『男はつらいよ』を旅する』『大空への夢 特撮の神様円谷英二伝』『七人の侍ロケ地の謎を探る』『東京映画地図』『テレ東のつくり方』『川上音二郎と貞奴III

ストレートプレイ登場する』『関西小劇場30年の熱闘 演劇は何のためにあるのか』『芝居絵に歌舞伎をみる ホノルル美術館所蔵ジェイムズ・A・ミッチナーコレクション』『再会の手帖 また逢いたい男たち』『俳優名鑑』『人の情けの盃』『藝界歳時記』『炎の恋人』

資料をご寄贈くださった方々 (敬称略・順不同/2021年10月-11月)

※許可を得た方のみ掲載しております

松竹株式会社、(株)マルヨンプロダクション「シナリオ」編集部、国立劇場、シナリオ・センター、株式会社日本舞踊社、無声映画鑑賞会、株式会社セクターエイティエイトKENSYO編集部、独立行政法人日本芸術文化振興会(国立劇場)、日本映画テレビプロデューサー協会、キネマ旬報社、東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)、演劇出版社、東京都江戸東京博物館、文学座、シアタークリエ、公益財団法人 劇場演出空間技術協会、有限会社合同通信社、一般財団法人調布市武者小路実篤記念館、協同組合 日本映画撮影監督協会、墨染会、国立映画アーカイブ、御園座演劇図書館、岩波ホール、一般社団法人日本民間放送連盟、オペラシアターこんにやく座、人形劇団ブーク、公益社団法人日本照明家協会、株式会社カモミール社テアトロ編集部、博多座、劇団民藝、一般社団法人義太夫協会、劇団青年座、明治座、シーエイティブロデューズ、新国立劇場情報センター、樽松大剛、おとなのデジタルTVナビ編集部、(株)近代映画社、早稲田大学演劇映像学会、児童・青少年演劇ジャーナル「げき」編集委員会、東宝株式会社映像事業部、銀座百店会、藤間恵磨、銀座 博品館劇場、玉川大学教育博物館、早稲田大学演劇博物館、帝国劇場、邦楽の友社、ミュージカルカンパニー イッツフォーリーズ、TPT、齋藤雅文、関西学院大学 文化総部 古典芸能研究部OB会、劇団銅鑼、公益財団法人阪急文化財団、公益財団法人日本近代文学館、大矢芳弘、丹野達弥、一般社団法人伝統歌舞伎保存会、若林さだ吉、劇団俳優座、日本劇作家協会、企業メセナ協議会

どうもありがとうございました

公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い

公益認定を受けた財団法人への寄附金支出者は税制上の優遇措置が受けられます

公益財団法人松竹大谷図書館は、演劇・映画の専門図書館である松竹大谷図書館を運営し、所蔵資料を広く一般に無料で公開して、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とする事業を行っております。当館の使命である、資料を収集・整理・保存・公開する図書館事業を確実かつ持続的に達成し、さらなる社会貢献をしていくために、寄附金を募っております。

何卒、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

■現在ご支援いただいている方々（了承を得た方のみ掲載）令和3[2021]年12月にご支援いただきました

法人・団体（50音順・敬称略）

株式会社歌舞伎座
歌舞伎座サービス株式会社
歌舞伎座舞台株式会社
有限会社合同通信社
松竹株式会社
松竹衣裳株式会社

株式会社松竹映像センター
松竹音楽出版株式会社
松竹芸能株式会社
株式会社松竹サービスネットワーク
松竹ブロードキャスティング株式会社
株式会社松竹マルチプレックスシアターズ

個人（敬称略）

細矢タエ

どうもありがとうございます

松竹大谷図書館 ご来館予約のお願い

開館日時やご利用方法につきましては、状況の変化にともない変更の可能性があります。

随時お電話でのご確認や、当館のHP、Facebookの更新をご確認下さい。ご理解ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

当館は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ご来館は「前日までの予約制」とさせて頂いております。

《現在のご利用について》（※2021年11月1日改定）

- 開館時間 10:00～17:00
- ご来館前日（※休館日を除く）までに、お電話でのご予約をお願い致します。
当日のご予約は、お席に空きがあった場合のみ承ります。
松竹大谷図書館 03（5550）1694（平日10時～17時）
- 展示はご予約なしでご覧頂けます。状況によっては、入室をお待ち頂く場合がございます。

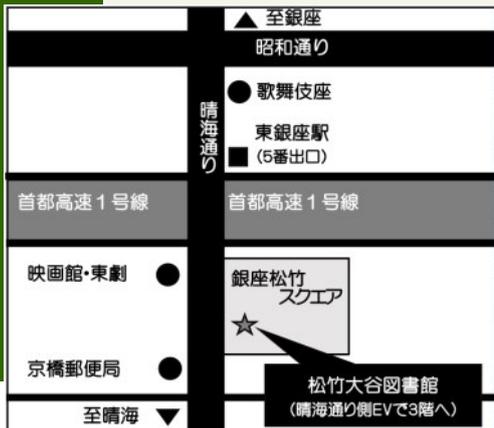
《ご予約について》

- ★10時から17時まで、1時間ごとに最大3時間までご予約頂けます。
- ★ご予約の際、お名前、人数、ご希望日時、閲覧希望資料名、ご連絡先をお知らせ下さい。
- ★ご同伴者はお一人までで、出来るだけお一人でのご来館をお願い致します。
- ★一日のご利用冊数は、18冊まででお願い致します。
- ★資料は予約優先になりますので、ご利用頂けない場合もございます。

松竹大谷図書館資料検索：<https://opac315.libraryexpert.net/lib-shochiku-otani/>

詳しいご利用方法はこちら：<https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/news/211101.html>

年末年始休館のお知らせ
令和3年12月25日（土）より
令和4年1月10日（月）まで
令和4年1月11日（火）より開館いたします



- 利用案内●[開館時間]平日10:00～17:00/[休館日]土曜日、日曜日、祝日、毎月最終木曜日、5月1日、11月22日、年末年始、春期・夏期整理期間※その他、臨時休館のある場合は1ヶ月前から館内およびWebサイトに掲示します/[閲覧]館内閲覧のみ
- [入館料]無料/[コピーサービス] A4 1枚 白黒50円、カラー150円・B4 1枚 白黒100円、カラー300円 量が多い場合は翌開館日渡し、または郵送(送料は申込者負担) 但し、コピー不可の資料もあります
- 資料検索●<https://opac315.libraryexpert.net/lib-shochiku-otani/>
- 交通案内●東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線 東銀座駅5番出口より徒歩3分/東京メトロ有楽町線 新富町駅1番出口より徒歩8分



編集・発行：公益財団法人 松竹大谷図書館
〒104-0045 東京都中央区築地1-13-1 銀座松竹スクエア3階
TEL:03-5550-1694
公式HP● <http://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/>
公式Facebook● <https://www.facebook.com/Shochikuotanitoshokan/>